

高知大学人文社会科学部履修規則

平成 28 年 3 月 9 日
規 則 第 96 号

最終改正 令和 7 年 3 月 5 日規則第 75 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、高知大学人文社会科学部規則第 8 条の規定に基づき、高知大学人文社会科学部の授業科目及び履修方法に関する事項について定める。

(授業科目)

第 2 条 授業科目は、大学での学びかた科目、国際コミュニケーション科目及び数理・データサイエンス・A I 科目 (導入科目群)、生きる力を育む科目及び視野を広げる科目 (教養科目群) 並びに専門科目に分ける。

(卒業要件)

第 3 条 卒業に必要な最低修得単位数は、次表のとおりとする。なお、表中の括弧書きは、修得しなければならない単位数を内数で表す。

| 科 目 | | | 単位数 | |
|-----------|---------------------|---------------|-----|----|
| 導 入 科 目 群 | 大学での学びかた科目 | | 6 | |
| | 国際コミュニケーション科目 | 基 軸 英 語 | 4 | |
| | | 国 際 英 語 | (4) | 26 |
| | | 初修外国語・日本語 | | |
| | 数理・データサイエンス・A I 科目 | | (4) | |
| 教 養 科 目 群 | 生きる力を育む科目 | 生 活 | (8) | |
| | | 医療・健康・スポーツ | | |
| | | キ ャ リ ア 形 成 | | |
| | | 芸 術 | | |
| | 視野を広げる科目 | 人文・社会科学系領域 | | |
| | | 自 然 科 学 系 領 域 | | |
| | | 複 合 領 域 | | |
| 専 門 科 目 | ゼ ミ ナ ー ル 科 目 | | 16 | |
| | プ ラ ッ ト フ ォ ー ム 科 目 | | 30 | |
| | 選 択 科 目 | | 42 | |
| 合 計 | | | 124 | |

(導入科目群及び教養科目群)

第 4 条 大学での学びかた科目は、「大学基礎論」2 単位、「学問基礎論」2 単位及び「課題

探求実践セミナー」 2 単位の 6 単位を必修とする。

2 国際コミュニケーション科目のうち基軸英語は、「英会話Ⅰ」1 単位、「英会話Ⅱ」1 単位及び「大学英語入門」 2 単位の 4 単位を必修とする。

3 数理・データサイエンス・AⅠ科目は、「情報とデータリテラシー」 2 単位及び「データサイエンス入門」 2 単位の 4 単位を必修とする。

4 国際コミュニケーション科目のうち国際英語及び初修外国語・日本語、生きる力を育む科目並びに視野を広げる科目は、次に定める履修方法に従い、前項の 4 単位を含めて 26 単位を修得するものとする。この場合において、外国人留学生及び外国において中等教育を相当の期間受けた学生は、初修外国語・日本語の「日本語Ⅰ」、「日本語Ⅱ」、「日本語Ⅲ」及び「日本語Ⅳ」を履修し合計 8 単位まで、人文・社会科学系領域の「日本事情Ⅰ」、「日本事情Ⅱ」、「日本事情Ⅲ」及び「日本事情Ⅳ」を履修し合計 8 単位までを卒業要件単位とすることができる。なお、「日本語Ⅰ」、「日本語Ⅱ」、「日本語Ⅲ」及び「日本語Ⅳ」については、8 単位のうち 4 単位までを第 2 項に規定する国際コミュニケーション科目の基軸英語の単位に代えることができる。

(1) 国際英語及び初修外国語・日本語

コースごとに次の履修方法に従い、4 単位以上を修得するものとする。

ア 人文科学コース

初修外国語・日本語のドイツ語、フランス語、中国語、韓国語（朝鮮語）及びスペイン語（外国人留学生及び外国において中等教育を相当の期間受けた学生にあっては、日本語を含む。）の中から 1 外国語 4 単位以上を修得するものとする。ただし、第 3 年次又は第 4 年次に転学部及び転コースを許可された学生は、初修外国語・日本語から 4 単位以上の修得とすることができる。

イ 国際社会コース

初修外国語・日本語から 4 単位以上を修得するものとする。

ウ 社会科学コース

国際英語及び初修外国語・日本語から 4 単位以上を修得するものとする。

(2) 生きる力を育む科目及び視野を広げる科目

生きる力を育む科目の生活、医療・健康・スポーツ、キャリア形成及び芸術の 4 細目区分並びに視野を広げる科目の人文・社会科学系領域、自然科学系領域及び複合領域の 3 細目区分のうち、3 細目区分以上から 8 単位以上を修得するものとする。

(専門科目)

第5条 専門科目は、別表1から別表4までのとおりとし、次に定める履修方法に従い、ゼミナール科目16単位、プラットフォーム科目30単位及び選択科目42単位を修得するものとする。

(1) ゼミナール科目

コースごとに次表の履修方法に従い16単位を修得するものとする。なお、人文科学コースは「ゼミナールⅠ・ゼミナールⅡ（基礎演習）」及び「ゼミナールⅢ・ゼミナールⅣ（演習Ⅰ・Ⅱ）」、社会科学コースは「ゼミナールⅢ（専門演習Ⅰ）」及び「ゼミナールⅣ（専門演習Ⅱ）」について卒業要件単位数を超えて修得した単位を選択科目の卒業要件単位に組み入れることができるものとする。

| コース | 科目名 | 単位 |
|-------------|-----------------------------|----|
| 人文科学 コース | ゼミナールⅠ・ゼミナールⅡ（基礎演習） | 4 |
| | ゼミナールⅢ・ゼミナールⅣ（演習Ⅰ・Ⅱ） | 4 |
| | 卒業論文・ゼミナールⅤ・Ⅵ | 8 |
| 国際社会 コース | ゼミナールⅠ | 2 |
| | ゼミナールⅡ | 2 |
| | ゼミナールⅢ | 2 |
| | ゼミナールⅣ | 2 |
| | 卒業論文・ゼミナールⅤ・Ⅵ | 8 |
| 社会科学 コース | ゼミナールⅠ（社会制度設計演習Ⅰ） | 2 |
| | ゼミナールⅡ（社会制度設計演習Ⅱ） | 2 |
| | ゼミナールⅢ（専門演習Ⅰ） | 2 |
| | ゼミナールⅣ（専門演習Ⅱ） | 2 |
| | 卒業論文・ゼミナールⅤ・Ⅵ（卒業論文・専門演習Ⅲ・Ⅳ） | 8 |

(2) プラットフォーム科目

別表1に定めるプラットフォーム科目から、学部共通科目4単位以上（社会科学コースにおいては「社会制度設計論」2単位を含む。）を含み、合計30単位を修得するものとする。なお、卒業要件単位数を超えて修得した単位を選択科目の卒業要件単位に組み入れることができるものとする。

(3) 選択科目

コースごとに次の履修方法に従い 42 単位を修得するものとする。

ア 人文科学コース

別表 2 に定めるコース専門科目から第 1 号に規定するゼミナール科目 16 単位を除き、42 単位を修得するものとする。なお、プラットフォーム科目及び他コース又は他学部の専門科目から修得した単位を合わせて 16 単位まで組み入れることができる。ただし、別表 5 から別表 10 までに定める科目のうち各教科の指導法に関する科目及び別表 11 に定める科目（「教育学・教育課程概論」及び「教育心理学概論」を除く。）は、卒業要件単位には含めないものとし、他学部の専門科目から修得した単位は 8 単位を卒業要件単位に組み入れることができる単位数の上限とする。

イ 国際社会コース

別表 3 に定めるコース専門科目（ゼミナール科目を除く。）から、42 単位を修得するものとする。なお、プラットフォーム科目及び他コース又は他学部の専門科目から修得した単位を合わせて 16 単位まで組み入れることができる。ただし、別表 5 から別表 10 までに定める科目のうち各教科の指導法に関する科目及び別表 11 に定める科目（「教育学・教育課程概論」及び「教育心理学概論」を除く。）は、卒業要件単位には含めないものとし、他学部の専門科目から修得した単位は 8 単位を卒業要件単位に組み入れることができる単位数の上限とする。

ウ 社会科学コース

次に掲げるところにより、合わせて 42 単位を修得するものとする。

(i) 別表 4 に定めるコース専門科目（ゼミナール科目を除く。）から、別表 4 の第 I 群から第 IV 群までのすべての科目群から最低 2 単位を修得し、合わせて 30 単位を修得するものとする。この場合において 1 つの科目群から修得する単位数は 14 単位までとする。

(ii) (i) に掲げるもののほか、別表 4 に定めるコース専門科目、プラットフォーム科目及び他コース又は他学部の専門科目から合わせて 12 単位を修得するものとする。ただし、別表 5 から別表 10 までに定める科目のうち各教科の指導法に関する科目及び別表 11 に定める科目（「教育学・教育課程概論」及び「教育心理学概論」を除く。）は、卒業要件単位には含めないものとする。

2 第3年次編入学生並びに第3年次又は第4年次に転学部及び転コースを許可された学生は、人文科学コースの「ゼミナールⅠ・ゼミナールⅡ（基礎演習）」、国際社会コースの「ゼミナールⅠ」及び「ゼミナールⅡ」並びに社会科学コースの「ゼミナールⅠ（社会制度設計演習Ⅰ）」、「ゼミナールⅡ（社会制度設計演習Ⅱ）」及び「社会制度設計論」については、別表2から別表4までに定める各コースの専門科目の中から前項第1号の表に規定する各授業科目に応じた単位数（社会科学コースの「社会制度設計論」については、別表1に定めるプラットフォーム科目の学部共通科目の中から2単位）を修得することにより、当該科目の単位に代えることができる。

（卒業論文履修資格）

第6条 「卒業論文・ゼミナールⅤ・Ⅵ」又は「卒業論文・ゼミナールⅤ・Ⅵ（卒業論文・専門演習Ⅲ・Ⅳ）」（以下「卒業論文・ゼミナール」という。）を履修するためには、3年以上在学し、大学での学びかた科目、国際コミュニケーション科目、数理・データサイエンス・AⅠ科目、生きる力を育む科目及び視野を広げる科目並びに専門科目の中から卒業の要件として履修する授業科目を合計90単位以上修得していなければならない。この場合において、当該単位数には、人文科学コースにおいては大学での学びかた科目、国際コミュニケーション科目の基軸英語及び数理・データサイエンス・AⅠ科目における必修科目の14単位、国際コミュニケーション科目の初修外国語・日本語として履修しなければならない外国語の科目4単位並びに専門科目の「ゼミナールⅠ・ゼミナールⅡ（基礎演習）」4単位及び「ゼミナールⅢ・ゼミナールⅣ（演習Ⅰ・Ⅱ）」4単位を、国際社会コースにおいては大学での学びかた科目、国際コミュニケーション科目及び数理・データサイエンス・AⅠ科目における必修科目の14単位、専門科目の「ゼミナールⅠ」2単位及び「ゼミナールⅡ」2単位を、社会科学コースにおいては専門科目の「ゼミナールⅢ（専門演習Ⅰ）」2単位及び「ゼミナールⅣ（専門演習Ⅱ）」2単位を含むものとする。

2 前項の規定にかかわらず、別に定める早期卒業に関する取扱いに基づき有資格となった学生は、2年以上の在学で「卒業論文・ゼミナール」を履修することができる。

3 卒業論文は、所定の期日までに学部長に提出しなければならない。

（教職課程）

第7条 教育職員免許状取得希望者は、次の各号に定める科目の単位を修得しなければならない。

（1）教科及び教科の指導法に関する科目

別表5から別表10までに定める科目の中から、取得しようとする免許状の種別に従

い、中学校教諭一種免許状の取得希望者は 28 単位、高等学校教諭一種免許状の取得希望者は 24 単位を修得しなければならない。

(2) 教育の基礎的理解に関する科目等

別表 11 に定める科目の中から、中学校教諭一種免許状の取得希望者は 27 単位、高等学校教諭一種免許状の取得希望者は 23 単位を修得しなければならない。

(3) 大学が独自に設定する科目

前 2 号に定める科目の中から、前 2 号に定める必要最低修得単位数を超えて、中学校教諭一種免許状の取得希望者は 4 単位以上、高等学校教諭一種免許状の取得希望者は 12 単位以上を修得しなければならない。なお、高等学校教諭一種免許状の取得希望者は、別表 11 に定める科目のうち「道德教育」を大学が独自に設定する科目として履修することができる。

(4) 教育職員免許法施行規則（昭和 29 年文部省令第 26 号）第 66 条の 6 に定める科目

国際コミュニケーション科目の中から「英会話Ⅰ」1 単位及び「英会話Ⅱ」1 単位並びに数理・データサイエンス・AⅠ科目の中から「情報とデータリテラシー」2 単位を修得するとともに、人文科学コース及び国際社会コースにおいては、生きる力を育む科目の中から「スポーツ科学講義」又は「スポーツ科学実技」2 単位及び視野を広げる科目の中から「憲法を学ぶ」2 単位を、社会科学コースにおいては、生きる力を育む科目の中から「スポーツ科学講義」又は「スポーツ科学実技」2 単位及び専門科目の中から「憲法Ⅰ」2 単位を修得しなければならない。なお、人文科学コース及び国際社会コースにおいては、視野を広げる科目「憲法を学ぶ」2 単位を専門科目「憲法Ⅰ」2 単位の修得をもって代えることができる。

(5) 介護等の体験

中学校教諭一種免許状の取得希望者は、生きる力を育む科目「介護等体験」2 単位を修得しなければならない。

- 2 「教育実習」は、「卒業論文・ゼミナール」の履修を認められた者で、前年度までに「教育学・教育課程概論」2 単位、「教職入門」2 単位、「教育制度論」2 単位、「教育心理学概論」2 単位、「特別支援教育入門」2 単位、「生徒指導・進路指導」2 単位、「教育相談」2 単位及び実習を希望する教科の指導法に関する科目 2 単位のすべてを含み、別表 5 から別表 10 までに定める科目のうち当該教科の指導法に関する科目及び別表 11 に定める科目を合わせて 18 単位以上修得済みで、教育実習事前指導を終了している者のみ受講す

ることができる。

- 3 「教職実践演習（中・高）」は、教育実習を終了又は年度内に終了見込みの者で、年度当初において、当該年度の履修により教育職員免許状取得に必要な単位をすべて（複数校種・複数教科の希望者はそのうちの一について）修得し、卒業することが可能な状態である者のみ受講することができる。

（学芸員資格）

第8条 学芸員資格取得のための教育課程は、別に定める。

（単位の計算方法）

第9条 科目に対する単位数は、次の基準によって計算する。

- （1）講義及び演習は、15時間の授業をもって1単位とする。ただし、演習については、30時間の授業をもって1単位とすることがある。
- （2）国際コミュニケーション科目の外国語は、15時間の授業をもって1単位とする。ただし、30時間の授業をもって1単位とすることがある。
- （3）実験・実習・実技は、30時間の授業をもって1単位とする。ただし、45時間の授業をもって1単位とすることがある。
- （4）「卒業論文・ゼミナール」の単位の計算方法については、別に定める。

（追試験）

第10条 追試験は、病気その他正当な理由のある場合に限り、教授会の議を経て許可することがある。

- 2 追試験の願い出は、事前に、やむを得ない場合は、当該試験終了後1週間以内にしなければならない。

附 則

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則（平成31年2月18日規則第73号）

- 1 この規則は、平成31年4月1日から施行する。ただし、平成30年度以前の入学生については、この規則による改正後の高知大学人文社会科学部履修規則の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 2 前項ただし書きに規定する者のほか、教育公務員特例法等の一部を改正する法律（平成28年法律第87号）及び教育職員免許法施行規則及び免許状更新講習規則の一部を改正する省令（平成29年文部科学省令第41号）の規定により、これらの規定による改正

前の教育職員免許法（昭和 24 年法律第 147 号）及び教育職員免許法施行規則（昭和 29 年文部省令第 26 号）の規定により教育職員免許状授与の所要資格を得ることができるとされる者については、この規則による改正後の高知大学人文社会科学部履修規則の規定にかかわらず、別表 4 に係る改正を除き、なお従前の例による。

附 則（令和 2 年 3 月 6 日規則第 59 号）

この規則は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。ただし、令和元年度以前の入学生及び編入学等によって令和元年度以前の入学生と同じ学年に入学等を許可された者については、この規則による改正後の高知大学人文社会科学部履修規則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（令和 3 年 2 月 26 日規則第 35 号）

この規則は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。ただし、令和 2 年度以前の入学生及び編入学等によって令和 2 年度以前の入学生と同じ学年に入学等を許可された者については、この規則による改正後の高知大学人文社会科学部履修規則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（令和 4 年 3 月 28 日規則第 99 号）

- 1 この規則は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 教育職員免許法施行規則等の一部を改正する省令（令和 3 年文部科学省令第 35 号）附則の規定による経過措置の適用を受ける者については、別表 11 の授業科目名を改める部分は、なお、従前の例による。
- 3 令和 3 年度以前の入学生及び編入学等によって令和 3 年度以前の入学生と同じ学年に入学を許可された者については、別表 2 及び別表 9 の授業科目を改める部分は、なお、従前の例による。

附 則（令和 6 年 3 月 1 日規則第 54 号）

この規則は、令和 6 年 4 月 1 日から施行する。ただし、令和 5 年度以前の入学生及び編入学等によって同学生と同じ学年に入学等を許可された者については、なお従前の例による。

附 則（令和 7 年 3 月 5 日規則第 75 号）

この規則は、令和 7 年 3 月 5 日から施行し、令和 6 年度入学生及び編入学等によって同学生と同じ学年に入学等を許可された者から適用する。ただし、令和 5 年度以前の入学生及び編入学等によって同学生と同じ学年に入学等を許可された者については、なお従前の

例による。

別表 1 (第 5 条関係)

プラットフォーム科目

| 開設 区分 | 授 業 科 目 | 単 位 数 | | 備考 |
|---|----------------|-------|----|-------------|
| | | 必修 | 選択 | |
| 学部 共通 科目 | 人文科学概論 | 2 | 2 | 社会科学コースのみ必修 |
| | 人文学・社会科学入門（国際） | | 2 | |
| | 社会制度設計論 | | 2 | |
| | リサーチリテラシー | | 2 | |
| | グローバル社会と地域 | | 2 | |
| | 人文社会科学と職業 | | 2 | |
| | ライフキャリア・プランニング | | 2 | |
| | AI を学ぶ | | 2 | |
| 人文科学 分野 | 哲学概論Ⅰ | | 2 | |
| | 哲学概論Ⅱ | | 2 | |
| | 心理学概論Ⅰ | | 2 | |
| | 心理学概論Ⅱ | | 2 | |
| | 日本史概論Ⅰ | | 2 | |
| | 日本史概論Ⅱ | | 2 | |
| | 東洋史概論Ⅰ | | 2 | |
| | 東洋史概論Ⅱ | | 2 | |
| | 人文地理概論Ⅰ | | 2 | |
| | 人文地理概論Ⅱ | | 2 | |
| | 日本語学概論Ⅰ | | 2 | |
| | 日本語学概論Ⅱ | | 2 | |
| | 日本文学概論Ⅰ | | 2 | |
| | 日本文学概論Ⅱ | | 2 | |
| | 英語言語学概論Ⅰ | | 2 | |
| | 英語言語学概論Ⅱ | | 2 | |
| | アメリカ文学概論Ⅰ | | 2 | |
| | アメリカ文学概論Ⅱ | | 2 | |
| | イギリス文学概論Ⅰ | | 2 | |
| | イギリス文学概論Ⅱ | | 2 | |
| | 中国文学概論Ⅰ | | 2 | |
| | 中国文学概論Ⅱ | | 2 | |
| グ ロ ー バ ル 研 究 分 野 | 言語のしくみⅠ | | 2 | |
| | 言語のしくみⅡ | | 2 | |
| | 言語習得・言語教育Ⅰ | | 2 | |
| | 言語習得・言語教育Ⅱ | | 2 | |
| | 欧米諸地域の文化Ⅰ | | 2 | |
| | 欧米諸地域の文化Ⅱ | | 2 | |
| | アジア諸地域の文化Ⅰ | | 2 | |
| | アジア諸地域の文化Ⅱ | | 2 | |
| | 近現代社会の思想とメディアⅠ | | 2 | |
| | 近現代社会の思想とメディアⅡ | | 2 | |
| | グローバル化と地域経済Ⅰ | | 2 | |
| | グローバル化と地域経済Ⅱ | | 2 | |

| | | | | |
|--------|------------|-----|-------|--|
| | エリアスタディーズⅠ | | 2 | |
| | エリアスタディーズⅡ | | 2 | |
| | エリアスタディーズⅢ | | 2 | |
| | エリアスタディーズⅣ | | 2 | |
| | 専門英語 | | 2 | |
| | ドイツ語演習 | | 2 | |
| | フランス語演習 | | 2 | |
| | 中国語演習 | | 2 | |
| | スペイン語演習 | | 2 | |
| | 韓国語（朝鮮語）演習 | | 2 | |
| 社会科学分野 | 経済学概論 | | 2 | |
| | 日本経済概論 | | 2 | |
| | 経営学概論 | | 2 | |
| | 政治学概論 | | 2 | |
| | 法学概論 | | 2 | |
| | 社会学概論 | | 2 | |
| | ミクロ経済学Ⅰ | | 2 | |
| | 憲法Ⅰ | | 2 | |
| | 地域経済論 | | 2 | |
| | 消費者行動論 | | 2 | |
| | 環境経済学 | | 2 | |
| | 計 | 0～2 | 30～28 | |

※「専門英語」、「ドイツ語演習」、「フランス語演習」、「中国語演習」、「スペイン語演習」及び「韓国語（朝鮮語）演習」は、同じ科目を履修した場合も二重履修とはならない。

※「エリアスタディーズⅠ」、「エリアスタディーズⅡ」、「エリアスタディーズⅢ」、「エリアスタディーズⅣ」は、副題を付して開講する。なお、履修した講義に付された副題が異なれば二重履修とはならない。

別表2 (第5条関係)

人文科学コース専門科目

| 授 業 科 目 | | 単位数 | | | 備 考 |
|--------------------------|-------------|-----|----------|----|------|
| | | 必修 | 選択 必修 | 選択 | |
| 卒業論文・ゼミナールⅤ・Ⅵ | | 8 | | | |
| ゼミナールⅠ・ゼミナールⅡ (基礎演習) | 西洋哲学基礎演習 | | 1 | 1 | 4 単位 |
| | 感情心理学基礎演習 | | 1 | 1 | |
| | 発達心理学基礎演習 | | 1 | 1 | |
| | 東洋古代中世史基礎演習 | | 1 | 1 | |
| | 地理学基礎演習 | | 1 | 1 | |
| | 日本古代文学基礎演習 | | 1 | 1 | |
| | 日本語史基礎演習 | | 1 | 1 | |
| | 言語文法論基礎演習 | | 1 | 1 | |
| | イギリス文学基礎演習 | | 1 | 1 | |
| | アメリカ文学基礎演習 | | 1 | 1 | |
| | 倫理学基礎演習 | | 1 | 1 | |
| | 宗教論基礎演習 | | 1 | 1 | |
| | 考古学基礎演習 | | 1 | 1 | |
| | 日本中世史基礎演習 | | 1 | 1 | |
| | 日本近代史基礎演習 | | 1 | 1 | |
| | 西洋社会史基礎演習 | | 1 | 1 | |
| | 日本中世文学基礎演習 | | 1 | 1 | |
| | 日本近代文学基礎演習 | | 1 | 1 | |
| ゼミナールⅢ・ゼミナールⅣ (演習Ⅰ・Ⅱ) | 西洋近現代思想演習Ⅰ | | 2 | 2 | 4 単位 |
| | 西洋近現代思想演習Ⅱ | | 2 | 2 | |
| | 発達心理学演習Ⅰ | | 2 | 2 | |
| | 発達心理学演習Ⅱ | | 2 | 2 | |
| | 感情心理学演習Ⅰ | | 2 | 2 | |
| | 感情心理学演習Ⅱ | | 2 | 2 | |
| | 日本中世史演習Ⅰ | | 2 | 2 | |
| | 日本中世史演習Ⅱ | | 2 | 2 | |
| | 日本近代史演習Ⅰ | | 2 | 2 | |
| | 日本近代史演習Ⅱ | | 2 | 2 | |
| | 東洋古代中世史演習Ⅰ | | 2 | 2 | |
| | 東洋古代中世史演習Ⅱ | | 2 | 2 | |
| | 西洋社会史演習Ⅰ | | 2 | 2 | |
| | 西洋社会史演習Ⅱ | | 2 | 2 | |
| | 人文地理学演習Ⅰ | | 2 | 2 | |
| | 人文地理学演習Ⅱ | | 2 | 2 | |
| | 考古学演習Ⅰ | | 2 | 2 | |
| | 考古学演習Ⅱ | | 2 | 2 | |
| | 日本語史演習Ⅰ | | 2 | 2 | |
| | 日本語史演習Ⅱ | | 2 | 2 | |

| | | | |
|-----------|---|---|--|
| 日本古代文学演習Ⅰ | 2 | 2 | |
| 日本古代文学演習Ⅱ | 2 | 2 | |
| 日本中世文学演習Ⅰ | 2 | 2 | |
| 日本中世文学演習Ⅱ | 2 | 2 | |
| 日本近代文学演習Ⅰ | 2 | 2 | |
| 日本近代文学演習Ⅱ | 2 | 2 | |
| 言語文法論演習Ⅰ | 2 | 2 | |
| 言語文法論演習Ⅱ | 2 | 2 | |
| イギリス文学演習Ⅰ | 2 | 2 | |
| イギリス文学演習Ⅱ | 2 | 2 | |
| アメリカ文学演習Ⅰ | 2 | 2 | |
| アメリカ文学演習Ⅱ | 2 | 2 | |
| 倫理学概論Ⅰ | | 2 | |
| 倫理学概論Ⅱ | | 2 | |
| 宗教学概論Ⅰ | | 2 | |
| 宗教学概論Ⅱ | | 2 | |
| 社会心理学 | | 2 | |
| 西洋人間論Ⅰ | | 2 | |
| 西洋人間論Ⅱ | | 2 | |
| 西洋近現代思想論Ⅰ | | 2 | |
| 西洋近現代思想論Ⅱ | | 2 | |
| 心理統計学 | | 2 | |
| 臨床心理基礎論 | | 2 | |
| 臨床心理応用論 | | 2 | |
| 認知発達心理学 | | 2 | |
| 感情心理学 | | 2 | |
| 人間行動論Ⅰ | | 2 | |
| 人間行動論Ⅱ | | 2 | |
| 人間行動論Ⅲ | | 2 | |
| 人間行動論Ⅳ | | 2 | |
| 心理学実験Ⅰ | | 2 | |
| 心理学実験Ⅱ | | 2 | |
| 心理学実験Ⅲ | | 2 | |
| 考古学概論Ⅰ | | 2 | |
| 考古学概論Ⅱ | | 2 | |
| 自然地理概論Ⅰ | | 2 | |
| 自然地理概論Ⅱ | | 2 | |
| 日本中世社会史 | | 2 | |
| 日本史学の現在 | | 2 | |
| 日本近現代史Ⅰ | | 2 | |
| 日本近現代史Ⅱ | | 2 | |
| 日本文化史Ⅰ | | 2 | |
| 日本文化史Ⅱ | | 2 | |
| 東洋古代中世史Ⅰ | | 2 | |
| 東洋古代中世史Ⅱ | | 2 | |

| | |
|-------------|---|
| アジア文化史Ⅰ | 2 |
| アジア文化史Ⅱ | 2 |
| 西洋史概論Ⅰ | 2 |
| 西洋史概論Ⅱ | 2 |
| 西洋社会史Ⅰ | 2 |
| 西洋社会史Ⅱ | 2 |
| 西洋文化史Ⅰ | 2 |
| 西洋文化史Ⅱ | 2 |
| 西洋史学の現在 | 2 |
| グローバルヒストリー論 | 2 |
| 日本近世近代史料講読Ⅰ | 2 |
| 日本近世近代史料講読Ⅱ | 2 |
| 考古学原論 | 2 |
| 考古学遺跡論 | 2 |
| 人文地理学Ⅰ | 2 |
| 人文地理学Ⅱ | 2 |
| 地域調査実習Ⅰ | 2 |
| 地域調査実習Ⅱ | 2 |
| 考古学実習Ⅰ | 2 |
| 考古学実習Ⅱ | 2 |
| 考古学実習Ⅲ | 2 |
| 考古学実習Ⅳ | 2 |
| 考古学地域論 | 2 |
| 地誌学 | 2 |
| 日本近代文学論Ⅰ | 2 |
| 日本近代文学論Ⅱ | 2 |
| 日本近代文学論Ⅲ | 2 |
| 現代日本語論Ⅰ | 2 |
| 現代日本語論Ⅱ | 2 |
| 現代日本語論Ⅲ | 2 |
| 日本古代中世文学史 | 2 |
| 日本近世近代文学史 | 2 |
| 日本語史Ⅰ | 2 |
| 日本語史Ⅱ | 2 |
| 日本語史Ⅲ | 2 |
| 日本文学論Ⅰ | 2 |
| 日本文学論Ⅱ | 2 |
| 日本文学論Ⅲ | 2 |
| 日本古典文学論Ⅰ | 2 |
| 日本古典文学論Ⅱ | 2 |
| 日本古典文学論Ⅲ | 2 |
| 日本文学史論Ⅰ | 2 |
| 日本文学史論Ⅱ | 2 |
| 日本文学史論Ⅲ | 2 |
| 日本古典文学講読Ⅰ | 2 |
| 日本古典文学講読Ⅱ | 2 |

| | | | | |
|-----------|---|---|----|--|
| 日本古典文学講読Ⅲ | | | 2 | |
| 日本近代文学講読Ⅰ | | | 2 | |
| 日本近代文学講読Ⅱ | | | 2 | |
| 日本近代文学講読Ⅲ | | | 2 | |
| 書道 | | | 2 | |
| 英語史概論Ⅰ | | | 2 | |
| 英語史概論Ⅱ | | | 2 | |
| 言語文法論Ⅰ | | | 2 | |
| 言語文法論Ⅱ | | | 2 | |
| イギリス文学論Ⅰ | | | 2 | |
| イギリス文学論Ⅱ | | | 2 | |
| アメリカ文学論Ⅰ | | | 2 | |
| アメリカ文学論Ⅱ | | | 2 | |
| 英語圏文化論 | | | 2 | |
| 映像メディア論 | | | 2 | |
| 英米文化史 | | | 2 | |
| 計 | 8 | 8 | 42 | |

別表 3 (第 5 条関係)

国際社会コース専門科目

| 授 業 科 目 | 単位数 | | 備 考 |
|--------------------|-----|----|-----|
| | 必修 | 選択 | |
| 卒業論文・ゼミナールⅤ・Ⅵ | 8 | | |
| ゼミナールⅠ | 2 | | |
| ゼミナールⅡ | 2 | | |
| ゼミナールⅢ | 2 | | |
| ゼミナールⅣ | 2 | | |
| 外国語文献講読 | | 2 | |
| 越境社会論 | | 2 | |
| 越境文化論 | | 2 | |
| 社会言語学 | | 2 | |
| 第二言語習得論 | | 2 | |
| アジア・アフリカ言語文化論 | | 2 | |
| アジア・アフリカ言語文化論演習 | | 2 | |
| 英語音声学 | | 2 | |
| 英語学研究 | | 2 | |
| 英語学研究演習 | | 2 | |
| 第二言語習得論演習 | | 2 | |
| ドイツ言語文化論演習 | | 2 | |
| 日米異文化間コミュニケーション論 | | 2 | |
| 日米異文化間コミュニケーション論演習 | | 2 | |
| 外国語としての日本語 | | 2 | |
| 外国語としての日本語演習 | | 2 | |
| 外国語としての日本語基礎論 | | 2 | |
| 日本語学 | | 2 | |
| 日本語教育論 | | 2 | |
| 日本語教育論演習 | | 2 | |
| 日本語教材分析 | | 2 | |
| 日本語教授法 | | 2 | |
| 対照言語学 | | 2 | |
| 比較日欧文化論 | | 2 | |
| 比較日米英文化論演習 | | 2 | |
| 比較文化論 | | 2 | |
| 比較文化論演習 | | 2 | |
| 社会思想史 | | 2 | |
| メディア論 | | 2 | |
| 英米文化史 | | 2 | |
| 英米文化史演習 | | 2 | |
| 越境文化論演習 | | 2 | |
| 社会思想史演習 | | 2 | |
| 大衆文化論 | | 2 | |

| | |
|--------------------|---|
| 日本文化表現論 | 2 |
| 比較日米英文化論 | 2 |
| 比較日独文化論 | 2 |
| 比較日中文化論 | 2 |
| 比較日仏文化論 | 2 |
| 比較日仏文化論演習 | 2 |
| フランス言語文化論 | 2 |
| フランス言語文化論演習 | 2 |
| 文化人類学 | 2 |
| 文化人類学演習 | 2 |
| 越境社会論演習 | 2 |
| グローバル社会特殊講義 | 2 |
| 言語・コミュニケーション特殊講義 | 2 |
| 国際協力論 | 2 |
| 国際協力論演習 | 2 |
| 国際関係論 | 2 |
| 国際関係論演習 | 2 |
| 総合文化特殊講義 | 2 |
| メディア論演習 | 2 |
| ラテンアメリカ経済社会論 | 2 |
| ラテンアメリカ経済社会論演習 | 2 |
| 社会ネットワーク論 | 2 |
| 社会ネットワーク論演習 | 2 |
| 英語オーラルコミュニケーションⅠ | 2 |
| 英語オーラルコミュニケーションⅡ | 2 |
| 英語オーラルコミュニケーション上級 | 2 |
| 英語オーラルコミュニケーション中級 | 2 |
| 英語テキスト構成研究Ⅰ | 2 |
| 英語テキスト構成研究Ⅱ | 2 |
| 英語テキスト構成研究上級 | 2 |
| 英語読解研究上級 | 2 |
| 英語パブリックコミュニケーションⅠ | 2 |
| 英語パブリックコミュニケーションⅡ | 2 |
| 英語語用論上級 | 2 |
| ドイツ語オーラルコミュニケーションⅠ | 2 |
| ドイツ語オーラルコミュニケーションⅡ | 2 |
| ドイツ語読解研究 | 2 |
| フランス語読解研究 | 2 |
| 中国言語文化論演習 | 2 |
| 中国語オーラルコミュニケーションⅠ | 2 |
| 中国語オーラルコミュニケーションⅡ | 2 |
| 中国語読解研究 | 2 |
| 現代中国社会文化論 | 2 |
| 現代中国社会文化論演習 | 2 |
| 中国古典文学論基礎論 | 2 |
| 中国古典文学論 | 2 |

| | | | |
|---------------------|----|----|--|
| 経営学特殊講義 | | 2 | |
| 法律学特殊講義 | | 2 | |
| 会計学特殊講義 | | 2 | |
| 国際社会実習（ステディ・ツアー）Ⅰ | | 2 | |
| 国際社会実習（ステディ・ツアー）Ⅱ | | 2 | |
| 国際社会実習（外国語実習）Ⅰ | | 2 | |
| 国際社会実習（外国語実習）Ⅱ | | 2 | |
| 国際社会実習（国内調査実習）Ⅰ | | 2 | |
| 国際社会実習（国内調査実習）Ⅱ | | 2 | |
| 国際社会実習（海外調査実習）Ⅰ | | 2 | |
| 国際社会実習（海外調査実習）Ⅱ | | 2 | |
| 国際社会実習（フィールド・リサーチ）Ⅰ | | 2 | |
| 国際社会実習（フィールド・リサーチ）Ⅱ | | 2 | |
| 国際社会実習（フィールド・リサーチ）Ⅲ | | 2 | |
| 国際社会実習（フィールド・リサーチ）Ⅳ | | 2 | |
| 社会文化調査論 | | 2 | |
| 計 | 16 | 42 | |

※「言語・コミュニケーション特殊講義」、「総合文化特殊講義」、「グローバル社会特殊講義」、「経営学特殊講義」、「法律学特殊講義」及び「会計学特殊講義」は、副題を付して開講する。なお、履修した特殊講義に付された副題が異なれば二重履修とはならない。

別表 4 (第 5 条関係)

社会科学コース専門科目

| 授 業 科 目 | | 単位数 | | | 備 考 |
|---------------|---------------------------------|-----|----------|----|-----|
| | | 必修 | 選択 必修 | 選択 | |
| | 卒業論文・ゼミナールⅤ・Ⅵ(卒業論文・ 専門演習Ⅲ・Ⅳ) | 8 | | | |
| | ゼミナールⅠ(社会制度設計演習Ⅰ) | 2 | | | |
| | ゼミナールⅡ(社会制度設計演習Ⅱ) | 2 | | | |
| | ゼミナールⅢ(専門演習Ⅰ) | 2 | | | |
| | ゼミナールⅣ(専門演習Ⅱ) | 2 | | | |
| 第Ⅰ群 (経済理論) | ミクロ経済学Ⅱ | | 2 | 2 | |
| | マクロ経済学 | | 2 | 2 | |
| | 産業組織論Ⅰ | | 2 | 2 | |
| | 産業組織論Ⅱ | | 2 | 2 | |
| | 組織の経済学 | | 2 | 2 | |
| | ゲーム理論Ⅰ | | 2 | 2 | |
| | ゲーム理論Ⅱ | | 2 | 2 | |
| | 労働経済論 | | 2 | 2 | |
| | 金融論 | | 2 | 2 | |
| | 国際金融論 | | 2 | 2 | |
| | 経済史 | | 2 | 2 | |
| | 日本経済史 | | 2 | 2 | |
| | 自然資源の経済学 | | 2 | 2 | |
| | 計量経済学 | | 2 | 2 | |
| | 経済理論基礎演習 | | 2 | 2 | |
| | 経済理論特殊講義 | | 2 | 2 | |
| 第Ⅱ群 (経済政策) | 資本主義システム論 | | 2 | 2 | |
| | 財政学 | | 2 | 2 | |
| | 地方財政論 | | 2 | 2 | |
| | 福祉経済論Ⅰ | | 2 | 2 | |
| | 福祉経済論Ⅱ | | 2 | 2 | |
| | 社会保障論 | | 2 | 2 | |
| | 産業立地論 | | 2 | 2 | |
| | 日本経済論 | | 2 | 2 | |
| | 農業経済論 | | 2 | 2 | |
| | 地域社会学 | | 2 | 2 | |
| | 地域水産振興論 | | 2 | 2 | |
| | 国際経済論 | | 2 | 2 | |
| | 国際水産開発論 | | 2 | 2 | |
| | ラテンアメリカ経済社会論 | | 2 | 2 | |
| | 社会調査論 | | 2 | 2 | |
| | 経済政策基礎演習 | | 2 | 2 | |
| | 経済政策特殊講義 | | 2 | 2 | |
| | 経営管理論 | | 2 | 2 | |
| | 人事管理論 | | 2 | 2 | |

| | | | | | |
|----------------|------------|----|---|----|--|
| 第Ⅲ群 (経営・会計) | 比較経営論 | | 2 | 2 | |
| | 競争戦略論 | | 2 | 2 | |
| | 企業システム論 | | 2 | 2 | |
| | マーケティング論 | | 2 | 2 | |
| | 流通論 | | 2 | 2 | |
| | 国際経営論 | | 2 | 2 | |
| | 会計学原理 | | 2 | 2 | |
| | 財務諸表分析 | | 2 | 2 | |
| | 原価計算論 | | 2 | 2 | |
| | 簿記原理Ⅰ | | 2 | 2 | |
| | 簿記原理Ⅱ | | 2 | 2 | |
| | 会計制度論 | | 2 | 2 | |
| | 経営学基礎演習 | | 2 | 2 | |
| | 会計学基礎演習 | | 2 | 2 | |
| | 経営学特殊講義 | | 2 | 2 | |
| | 会計学特殊講義 | | 2 | 2 | |
| 第Ⅳ群 (法律・政治) | 民法Ⅰ | | 2 | 2 | |
| | 民法Ⅱ | | 2 | 2 | |
| | 民法Ⅲ | | 2 | 2 | |
| | 商法Ⅰ | | 2 | 2 | |
| | 商法Ⅱ | | 2 | 2 | |
| | 商法Ⅲ | | 2 | 2 | |
| | 経済法Ⅰ | | 2 | 2 | |
| | 経済法Ⅱ | | 2 | 2 | |
| | 経済法Ⅲ | | 2 | 2 | |
| | 憲法Ⅱ | | 2 | 2 | |
| | 刑法Ⅰ | | 2 | 2 | |
| | 刑法Ⅱ | | 2 | 2 | |
| | 経済刑法 | | 2 | 2 | |
| | 行政法Ⅰ | | 2 | 2 | |
| | 行政法Ⅱ | | 2 | 2 | |
| | 環境法 | | 2 | 2 | |
| | 政治過程論 | | 2 | 2 | |
| | 法律学基礎演習 | | 2 | 2 | |
| | 政治学基礎演習 | | 2 | 2 | |
| | 法律学特殊講義 | | 2 | 2 | |
| | 政治学特殊講義 | | 2 | 2 | |
| 第Ⅴ群 | 社会科学基礎演習 | | | 2 | |
| | 社会科学特殊講義 | | | 2 | |
| | 職業指導概論(商業) | | | 2 | |
| 計 | | 16 | | 42 | |

※「ゼミナールⅢ(専門演習Ⅰ)」、「ゼミナールⅣ(専門演習Ⅱ)」は、授業担当教員が異なれば二重履修とはならない。

※「経済理論基礎演習」、「経済政策基礎演習」、「経営学基礎演習」、「会計学基礎演習」、「法律学基礎演習」、「政治学基礎演習」及び「社会科学基礎演習」は、授業担当教員が異なれば二重履修とはならない。また、「経済理論特殊講義」、「経済政策特殊講義」、「経営学特殊講義」、「会計学特殊講義」、「法律学特殊講義」、「政治学特殊講義」及び「社会科学特殊講義」は、授業担当教員が異なれば二重履修とはならない。

義」は、副題を付して開講する。なお、講義に付された副題が異なれば二重履修とはならない。

別表 5 (第 7 条関係)

■国語 (中学校・高等学校)

教科及び教科の指導法に関する科目

| 授 業 科 目 | 中学校 | | 高等学校 | | 備 考 |
|-------------|-----|-------------|------|-------------|-----------------------------------|
| | 必修 | 選択必修・ 選択 | 必修 | 選択必修・ 選択 | |
| 日本語学概論Ⅰ | 2 | | 2 | | いずれか 1 科目 (2 単位) 選択必修 |
| 日本語学概論Ⅱ | 2 | | 2 | | |
| 日本文学概論Ⅰ | 2 | | 2 | | |
| 日本文学概論Ⅱ | 2 | | 2 | | |
| 中国文学概論Ⅰ | | 2] 2 | | 2] 2 | いずれか 1 科目 (2 単位) 選択必修 |
| 中国文学概論Ⅱ | | 2] | | 2] | |
| 書道 | 2 | | | | |
| 日本語史Ⅰ | | 2 | | 2 | |
| 日本語史Ⅱ | | 2 | | 2 | 高等学校はⅠ、Ⅱ、 Ⅳから 1 科目 (2 単位) 選択必修 |
| 日本語史Ⅲ | | 2 | | 2 | |
| 現代日本語論Ⅰ | | 2 | | 2 | |
| 現代日本語論Ⅱ | | 2 | | 2 | |
| 現代日本語論Ⅲ | | 2 | | 2 | |
| 日本古代中世文学史 | | 2 | | 2 | |
| 日本近世近代文学史 | | 2 | | 2 | |
| 日本文学論Ⅰ | | 2 | | 2 | |
| 日本文学論Ⅱ | | 2 | | 2 | |
| 日本文学論Ⅲ | | 2 | | 2 | |
| 日本古典文学論Ⅰ | | 2 | | 2 | |
| 日本古典文学論Ⅱ | | 2 | | 2 | |
| 日本古典文学論Ⅲ | | 2 | | 2 | |
| 日本文学史論Ⅰ | | 2 | | 2 | |
| 日本文学史論Ⅱ | | 2 | | 2 | |
| 日本文学史論Ⅲ | | 2 | | 2 | |
| 日本近代文学論Ⅰ | | 2 | | 2 | |
| 日本近代文学論Ⅱ | | 2 | | 2 | |
| 日本近代文学論Ⅲ | | 2 | | 2 | |
| 日本古典文学講読Ⅰ | | 2 | | 2 | |
| 日本古典文学講読Ⅱ | | 2 | | 2 | |
| 日本古典文学講読Ⅲ | | 2 | | 2 | |
| 日本近代文学講読Ⅰ | | 2 | | 2 | |
| 日本近代文学講読Ⅱ | | 2 | | 2 | |
| 日本近代文学講読Ⅲ | | 2 | | 2 | |
| 中国古典文学論基礎論 | | 2 | | 2 | |
| 中国古典文学論 | | 2 | | 2 | |
| ※ 中等国語科指導法Ⅰ | 2 | | | 2] | 高等学校はⅠ、Ⅱ、 Ⅳから 1 科目 (2 単位) 選択必修 |
| ※ 中等国語科指導法Ⅱ | 2 | | | 2] | |
| ※ 中等国語科指導法Ⅲ | 2 | | 2 | 2] | |
| ※ 中等国語科指導法Ⅳ | 2 | | | 2] | |

| | | | |
|---------|----|----|--|
| 最低修得単位数 | 28 | 24 | |
|---------|----|----|--|

(注) 1 最低修得単位を超えて修得した単位は、「大学が独自に設定する科目」の単位となる。

2 ※の科目は、卒業要件単位には含めない。

別表 6 (第 7 条関係)

■社会 (中学校)

教科及び教科の指導法に関する科目

| 授 業 科 目 | 必修 | 選択必修・ 選択 | 備 考 |
|-------------|----|-------------|------------------|
| 日本史概論Ⅰ | 2 | | |
| 日本史概論Ⅱ | 2 | | |
| 東洋史概論Ⅰ | | 2 | いずれか 1 科目 (2 単位) |
| 東洋史概論Ⅱ | | 2 | 選択必修 |
| 西洋史概論Ⅰ | | 2 | いずれか 1 科目 (2 単位) |
| 西洋史概論Ⅱ | | 2 | 選択必修 |
| 地誌学 | 2 | | |
| 人文地理概論Ⅰ | | 2 | いずれか 1 科目 (2 単位) |
| 人文地理概論Ⅱ | | 2 | 選択必修 |
| 自然地理概論Ⅰ | | 2 | いずれか 1 科目 (2 単位) |
| 自然地理概論Ⅱ | | 2 | 選択必修 |
| 法学概論 | | 2 | いずれか 1 科目 (2 単位) |
| 政治学概論 | | 2 | 選択必修 |
| 経済学概論 | | 2 | いずれか 1 科目 (2 単位) |
| 社会学概論 | | 2 | 選択必修 |
| 哲学概論Ⅰ | | 2 | |
| 哲学概論Ⅱ | | 2 | |
| 倫理学概論Ⅰ | | 2 | いずれか 1 科目 (2 単位) |
| 宗教学概論Ⅰ | | 2 | 選択必修 |
| 宗教学概論Ⅱ | | 2 | |
| 日本中世社会史 | | 2 | |
| 日本史学の現在 | | 2 | |
| 日本近現代史Ⅰ | | 2 | |
| 日本近現代史Ⅱ | | 2 | |
| 日本文化史Ⅰ | | 2 | |
| 日本文化史Ⅱ | | 2 | |
| 日本近世近代史料講読Ⅰ | | 2 | |
| 日本近世近代史料講読Ⅱ | | 2 | |
| 考古学概論Ⅰ | | 2 | |
| 考古学概論Ⅱ | | 2 | |
| 考古学原論 | | 2 | |
| 考古学遺跡論 | | 2 | |
| 東洋古代中世史Ⅰ | | 2 | |
| 東洋古代中世史Ⅱ | | 2 | |
| アジア文化史Ⅰ | | 2 | |
| アジア文化史Ⅱ | | 2 | |
| 西洋社会史Ⅰ | | 2 | |
| 西洋社会史Ⅱ | | 2 | |
| 西洋文化史Ⅰ | | 2 | |
| 西洋文化史Ⅱ | | 2 | |

| | | | |
|----------------|---|----|-------------------|
| グローバルヒストリー論 | | 2 | |
| 西洋史学の現在 | | 2 | |
| 人文地理学Ⅰ | | 2 | |
| 人文地理学Ⅱ | | 2 | |
| 地域調査実習Ⅰ | | 2 | |
| 地域調査実習Ⅱ | | 2 | |
| 憲法Ⅰ | | 2 | |
| 民法Ⅰ | | 2 | |
| 行政法Ⅰ | | 2 | |
| 刑法Ⅰ | | 2 | |
| 経済法Ⅰ | | 2 | |
| 財政学 | | 2 | |
| 日本経済史 | | 2 | |
| 社会保障論 | | 2 | |
| 地域社会学 | | 2 | |
| 近現代社会の思想とメディアⅠ | | 2 | |
| 社会思想史 | | 2 | |
| 国際関係論 | | 2 | |
| 倫理学概論Ⅱ | | 2 | |
| 西洋近現代思想論Ⅰ | | 2 | |
| 西洋近現代思想論Ⅱ | | 2 | |
| 西洋人間論Ⅰ | | 2 | |
| 西洋人間論Ⅱ | | 2 | |
| ※ 中等社会科指導法Ⅰ | 2 | | |
| ※ 中等社会科指導法Ⅱ | 2 | | |
| ※ 中等社会科指導法Ⅲ | | 2 | Ⅲ～Ⅵから2科目（4単位）選択必修 |
| ※ 中等社会科指導法Ⅳ | | 2 | |
| ※ 中等社会科指導法Ⅴ | | 2 | |
| ※ 中等社会科指導法Ⅵ | | 2 | |
| 最低修得単位数 | | 28 | |

(注) 1 最低修得単位を超えて修得した単位は、「大学が独自に設定する科目」の単位となる。

2 ※の科目は、卒業要件単位には含めない。

別表 7 (第 7 条関係)
 ■地理歴史 (高等学校)

教科及び教科の指導法に関する科目

| 授 業 科 目 | 必修 | 選択必修・ 選択 | 備 考 |
|-------------|----|-------------|---------------------------|
| 日本史概論Ⅰ | 2 | | |
| 日本史概論Ⅱ | 2 | | |
| 東洋史概論Ⅰ | | 2 | いずれか 1 科目 (2 単位) 選択 必修 |
| 東洋史概論Ⅱ | | 2 | |
| 西洋史概論Ⅰ | | 2 | いずれか 1 科目 (2 単位) 選択 必修 |
| 西洋史概論Ⅱ | | 2 | |
| 人文地理概論Ⅰ | | 2 | いずれか 1 科目 (2 単位) 選択 必修 |
| 人文地理概論Ⅱ | | 2 | |
| 自然地理概論Ⅰ | | 2 | いずれか 1 科目 (2 単位) 選択 必修 |
| 自然地理概論Ⅱ | | 2 | |
| 地誌学 | 2 | | |
| 日本中世社会史 | | 2 | |
| 日本史学の現在 | | 2 | |
| 日本近現代史Ⅰ | | 2 | |
| 日本近現代史Ⅱ | | 2 | |
| 日本文化史Ⅰ | | 2 | |
| 日本文化史Ⅱ | | 2 | |
| 日本近世近代史料講読Ⅰ | | 2 | |
| 日本近世近代史料講読Ⅱ | | 2 | |
| 考古学概論Ⅰ | | 2 | |
| 考古学概論Ⅱ | | 2 | |
| 考古学原論 | | 2 | |
| 考古学遺跡論 | | 2 | |
| 東洋古代中世史Ⅰ | | 2 | |
| 東洋古代中世史Ⅱ | | 2 | |
| アジア文化史Ⅰ | | 2 | |
| アジア文化史Ⅱ | | 2 | |
| 西洋社会史Ⅰ | | 2 | |
| 西洋社会史Ⅱ | | 2 | |
| 西洋文化史Ⅰ | | 2 | |
| 西洋文化史Ⅱ | | 2 | |
| グローバルヒストリー論 | | 2 | |
| 西洋史学の現在 | | 2 | |
| 人文地理学Ⅰ | | 2 | |
| 人文地理学Ⅱ | | 2 | |
| 地域調査実習Ⅰ | | 2 | |
| 地域調査実習Ⅱ | | 2 | |
| ※ 中等社会科指導法Ⅲ | 2 | | |
| ※ 中等社会科指導法Ⅳ | 2 | | |
| 最低修得単位数 | 24 | | |

- (注) 1 最低修得単位を超えて修得した単位は、「大学が独自に設定する科目」の単位となる。
- 2 ※の科目は、卒業要件単位には含めない。

別表 8 (第 7 条関係)

■ 公民 (高等学校)

教科及び教科の指導法に関する科目

| 授 業 科 目 | 必修 | 選択必修・ 選択 | 備 考 |
|-----------------|----|-------------|--------------------------|
| 法学概論 | | 2 | いずれか 1 科目 (2 単位) 選択必修 |
| 政治学概論 | | 2 | |
| 経済学概論 | | 2 | いずれか 1 科目 (2 単位) 選択必修 |
| 社会学概論 | | 2 | |
| 哲学概論 I | | 2 | いずれか 1 科目 (2 単位) 選択必修 |
| 哲学概論 II | | 2 | |
| 倫理学概論 I | | 2 | |
| 宗教学概論 I | | 2 | |
| 宗教学概論 II | | 2 | |
| 心理学概論 I | | 2 | |
| 心理学概論 II | | 2 | |
| 憲法 I | | 2 | |
| 民法 I | | 2 | |
| 行政法 I | | 2 | |
| 刑法 I | | 2 | |
| 経済法 I | | 2 | |
| 財政学 | | 2 | |
| 日本経済史 | | 2 | |
| 社会保障論 | | 2 | |
| 地域社会学 | | 2 | |
| 近現代社会の思想とメディア I | | 2 | |
| 社会思想史 | | 2 | |
| 国際関係論 | | 2 | |
| 倫理学概論 II | | 2 | |
| 西洋近現代思想論 I | | 2 | |
| 西洋近現代思想論 II | | 2 | |
| 西洋人間論 I | | 2 | |
| 西洋人間論 II | | 2 | |
| 認知発達心理学 | | 2 | |
| 社会心理学 | | 2 | |
| 感情心理学 | | 2 | |
| ※ 中等社会科指導法 V | 2 | | |
| ※ 中等社会科指導法 VI | 2 | | |
| 最低修得単位数 | | 24 | |

(注) 1 最低修得単位を超えて修得した単位は、「大学が独自に設定する科目」の単位となる。

2 ※の科目は、卒業要件単位には含めない。

別表 9 (第 7 条関係)

■商業 (高等学校)

教科及び教科の指導法に関する科目

| 授 業 科 目 | 必修 | 選択必修・ 選択 | 備 考 |
|--------------|----|-------------|-----|
| 経営学概論 | 2 | | |
| 職業指導概論(商業) | 2 | | |
| 簿記原理Ⅰ | | 2 | |
| 会計学原理 | | 2 | |
| 財務諸表分析 | | 2 | |
| 経営管理論 | | 2 | |
| 人事管理論 | | 2 | |
| 比較経営論 | | 2 | |
| 競争戦略論 | | 2 | |
| 企業システム論 | | 2 | |
| 国際経営論 | | 2 | |
| 原価計算論 | | 2 | |
| 簿記原理Ⅱ | | 2 | |
| 会計制度論 | | 2 | |
| マーケティング論 | | 2 | |
| 商法Ⅰ | | 2 | |
| 商法Ⅱ | | 2 | |
| 商法Ⅲ | | 2 | |
| 日本経済論 | | 2 | |
| ミクロ経済学Ⅰ | | 2 | |
| 金融論 | | 2 | |
| 国際金融論 | | 2 | |
| 地方財政論 | | 2 | |
| 地域経済論 | | 2 | |
| 計量経済学 | | 2 | |
| 環境経済学 | | 2 | |
| グローバル化と地域経済Ⅰ | | 2 | |
| ※ 商業科指導法Ⅰ | 2 | | |
| ※ 商業科指導法Ⅱ | 2 | | |
| 最低修得単位数 | | 24 | |

(注) 1 最低修得単位を超えて修得した単位は、「大学が独自に設定する科目」の単位となる。

2 ※の科目は、卒業要件単位には含めない。

別表 10（第 7 条関係）

■英語（中学校・高等学校）

教科及び教科の指導法に関する科目

| 授 業 科 目 | 中学校 | | 高等学校 | | 備 考 |
|-------------------|-----|-------------|------|-------------|--------------------------|
| | 必修 | 選択必修・ 選択 | 必修 | 選択必修・ 選択 | |
| 英語言語学概論Ⅰ | | 2 | | 2 | いずれか 1 科目 (2 単位) 選択必修 |
| 英語言語学概論Ⅱ | | 2 | | 2 | |
| アメリカ文学概論Ⅰ | | 2 | | 2 | いずれか 1 科目 (2 単位) 選択必修 |
| アメリカ文学概論Ⅱ | | 2 | | 2 | |
| イギリス文学概論Ⅰ | | 2 | | 2 | いずれか 1 科目 (2 単位) 選択必修 |
| イギリス文学概論Ⅱ | | 2 | | 2 | |
| 英語オーラルコミュニケーションⅠ | | 2 | | 2 | いずれか 1 科目 (2 単位) 選択必修 |
| 英語オーラルコミュニケーションⅡ | | 2 | | 2 | |
| 英語パブリックコミュニケーションⅠ | | 2 | | 2 | |
| 英語パブリックコミュニケーションⅡ | | 2 | | 2 | |
| 比較日米英文化論 | | 2 | | 2 | いずれか 1 科目 (2 単位) 選択必修 |
| 英米文化史 | | 2 | | 2 | |
| 英語音声学 | | 2 | | 2 | |
| 英語学研究 | | 2 | | 2 | |
| 第二言語習得論 | | 2 | | 2 | |
| 言語習得・言語教育Ⅰ | | 2 | | 2 | |
| 英語テキスト構成研究Ⅰ | | 2 | | 2 | |
| 英語テキスト構成研究Ⅱ | | 2 | | 2 | |
| 英語テキスト構成研究上級 | | 2 | | 2 | |
| 言語のしくみⅡ | | 2 | | 2 | |
| イギリス文学論Ⅰ | | 2 | | 2 | |
| イギリス文学論Ⅱ | | 2 | | 2 | |
| アメリカ文学論Ⅰ | | 2 | | 2 | |
| アメリカ文学論Ⅱ | | 2 | | 2 | |
| 欧米諸地域の文化Ⅱ | | 2 | | 2 | |
| 日米異文化間コミュニケーション論 | | 2 | | 2 | |
| 英語オーラルコミュニケーション上級 | | 2 | | 2 | |
| 英語オーラルコミュニケーション中級 | | 2 | | 2 | |
| 英語語用論上級 | | 2 | | 2 | |
| 比較日欧文化論 | | 2 | | 2 | |

| | | | | | |
|-------------|---|----|---|----|--------------------------|
| 日本文化表現論 | | 2 | | 2 | |
| 大衆文化論 | | 2 | | 2 | |
| 言語のしくみⅠ | | 2 | | 2 | |
| ※ 中等英語科指導法Ⅰ | 2 | | | 2 | 高等学校はⅠ、Ⅱ、Ⅳから1科目(2単位)選択必修 |
| ※ 中等英語科指導法Ⅱ | 2 | | | 2 | |
| ※ 中等英語科指導法Ⅲ | 2 | | 2 | | |
| ※ 中等英語科指導法Ⅳ | 2 | | | 2 | |
| 最低修得単位数 | | 28 | | 24 | |

(注) 1 最低修得単位を超えて修得した単位は、「大学が独自に設定する科目」の単位となる。

2 ※の科目は、卒業要件単位には含めない。

別表 11（第 7 条関係）

教育の基礎的理解に関する科目等

| 教育職員免許法施行規則に規定する科目 | 授業科目名 | 中学校 | 高等学校 | |
|-------------------------------------|-----------------------|-----|------|------|
| | | 必修 | 必修 | 選択必修 |
| 教育の基礎的理解に関する科目 | 教育学・教育課程概論 | 2 | 2 | |
| | 教職入門 | 2 | 2 | |
| | 教育制度論 | 2 | 2 | |
| | 教育心理学概論 | 2 | 2 | |
| | 特別支援教育入門 | 2 | 2 | |
| 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目 | 道徳教育 | 2 | | |
| | 総合的な学習の時間・特別活動の指導法 | 2 | 2 | |
| | 教育の方法・技術（情報通信技術の活用含む） | 2 | 2 | |
| | 生徒指導・進路指導 | 2 | 2 | |
| | 教育相談 | 2 | 2 | |
| 教育実践に関する科目 | 教育実習 | 5 | | 5 |
| | 教育実習 | | | 3 |
| | 教職実践演習（中・高） | 2 | 2 | |
| 合 計 | | 27 | 23 | |

（注） 1 選択必修科目のうちから最低修得単位を超えて修得した単位は、第 7 条第 1 項第 3 号に規定する「大学が独自に設定する科目」の単位となる。

2 高等学校教諭一種免許状取得希望者は、「道徳教育」を「大学が独自に設定する科目」として履修することができる。

3 「教育学・教育課程概論」及び「教育心理学概論」は、卒業要件単位に含むことができる。